

別添 1

平成 15 年 月 日

平成 15 年度環境技術実証モデル事業の実証機関としての応募について

以下の技術分野に関して、平成 15 年度環境技術実証モデル事業の実証機関となることを希望しますので、別添の資料を添えて応募します。

技術分野名： _____ 分野

地方公共団体名： _____

担当者連絡先

所属部署：

担当者氏名：

住所：

電話番号：

F A X 番号：

e-mail アドレス：

●実証機関としての実施体制

1	主に担当する部局（技術実証委員会の事務局、技術の公募等）	担当部局： 実施責任者：
2	15年度に実証可能な技術の内容	
3	<p>実証試験の実施体制 （実証試験項目毎の実施機関がわかるよう、必要事項を記入又は説明資料を別途添付すること。なお、当該都道府県・市の試験機関以外の機関に外部委託する場合には、パンフレット等、その機関の設置形態、業務内容、規模、品質・データ管理体制、業務実績がわかる資料を添付すること。）※1）</p>	

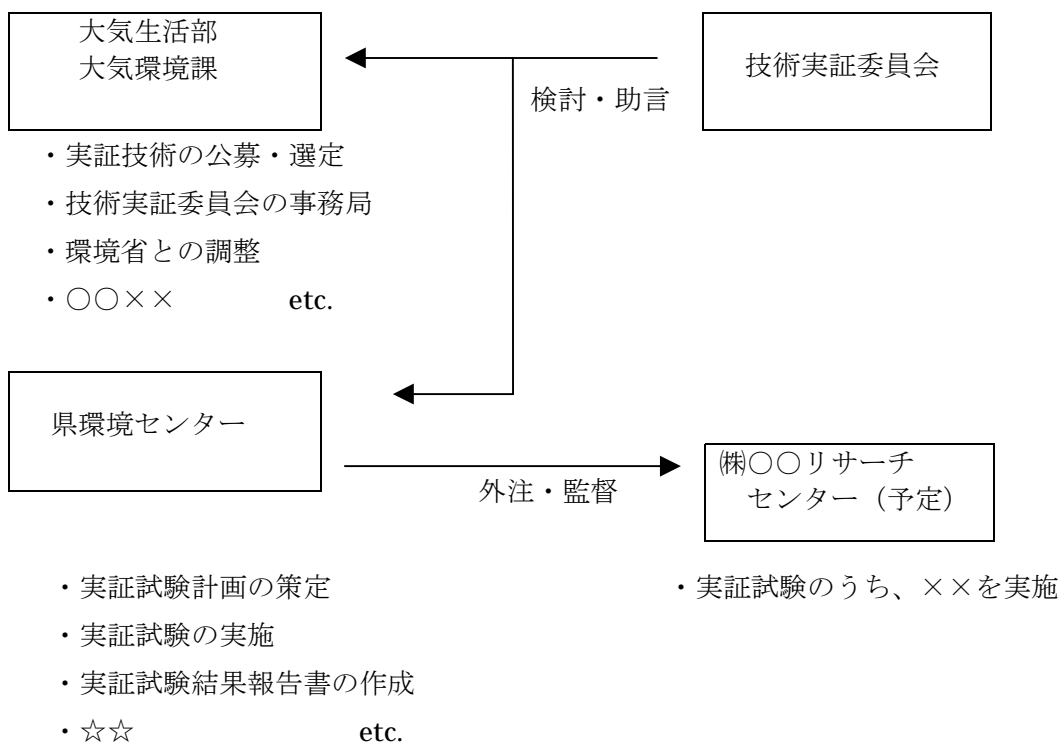
※1）別紙1～3に示した体制と異なる場合、その旨を明記（理由を含む）すること。

(別添2の参考)

●実証機関としての実施体制

1	主に担当する部局（技術実証委員会の事務局、技術の公募等）及び実施責任者	担当部局：環境生活部大気環境課 実施責任者：環境生活部長
2	15年度に実証可能な技術の内容	実証試験実施要領に含まれる技術内容は全て実施可能。
3	実証試験の実施体制 （実証試験項目毎の実施機関がわかるよう、必要事項を記入又は説明資料を別途添付すること。なお、当該都道府県・市の試験機関以外の機関に外部委託する場合には、パンフレット等、その機関の設置形態、業務内容、規模、品質・データ管理体制、業務実績がわかる資料を添付すること。）※1）	以下に示す。

※1）別紙1～3に示した体制と異なる場合、その旨を明記（理由を含む）すること。



実証に要する費用の見込み（全体額概算）（平成15年度～平成16年度）

○技術の実証に必要な試験分析費 （実証可能な技術サンプル数を想定して積算を行って下さい。）	万円（税込額） （以下に内訳を添付のこと）
○その他、運営に係る費用	万円（税込額） （以下に内訳を添付のこと）

【内訳】

○技術の実証に必要な試験分析費

- ・ 借料・損料（機器レンタル費等）
（具体的な装置名）
- ・ 消耗品費
（具体的な消耗品リスト）
- ・ 補助職員賃金（実験補助等）
（実験補助等に必要の人日）
- ・ 外部委託費（一部実証試験の外注）
（委託に必要な人件費、機器の借料・損料、消耗品費等）
- ・ その他

○その他、運営に係る費用

- ・ 職員旅費
環境省との打ち合わせ、実証申請者との打合せ
- ・ 技術実証委員会
検討員への謝金、交通費、会議費、印刷製本費
- ・ 実証試験結果報告書
印刷製本費
- ・ 一般管理費
- ・ その他

注1：実証に要する全体の費用額と年度別の費用額を計上してください。

注2：上記経費はあくまで例示であり、必ずしも全ての経費を計上する必要はありません。

また、他に追加すべき経費の項目があれば、計上して下さい。

実証に要する費用の見込み（年度別概算）（平成 1 5 年度）

○技術の実証に必要な試験分析費 （実証可能な技術サンプル数を想定して積算を行って下さい。）	万円（税込額） （以下に内訳を添付のこと）
○その他、運営に係る費用	万円（税込額） （以下に内訳を添付のこと）

【内訳】

実証に要する費用の見込み（年度別概算）（平成 1 6 年度）

○技術の実証に必要な試験分析費 （実証可能な技術サンプル数を想定して積算を行って下さい。）	万円（税込額） （以下に内訳を添付のこと）
○その他、運営に係る費用	万円（税込額） （以下に内訳を添付のこと）

【内訳】

